

# ひたちなか市議会だより

黎明 れいめい

走り続けるひたちなか

もくじ

No.130

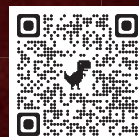
令和7年1月25日

- 新年のごあいさつ ..... 2
- 審議案件の紹介..... 2
- 一般質問 ..... 3
- 請願・陳情、人事 ..... 8
- 討論、委員会構成変更ほか... 9
- 市民のこえほか ..... 10

30th Anniversary

30t<sup>ri</sup>

ひとが咲くまち。ひたちなか



市議会ホームページ

写真の提供:おらが湊鐵道応援団  
撮影場所:三反田

# 新年のごあいさつ



副議長  
雨澤 正



議長  
薄井 宏安

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。また、日頃より市議会運営に対し格別のご理解、ご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、本市誕生30周年を迎え、11月1日には記念式典を盛大に開催しました。市民の皆さまと共にこれまでの歩みを振り返りながら、本市の未来に

## 謹んで新年のご祝詞を申し上げます

### ひたちなか市議会議員

鶴澤 恵一	安次 男	雨澤 正	薄井 宏安
大久保 清美	清水 健司	北原 祐二	清水 立雄
宇田 貴子	大内 健寿	弓削 仁一	三瓶 武浩
安坂 のり子	萩原 健生	大海 野富	打越 浩
井坂 涼子	鈴木 道生	大谷 聖仁	
鎌田 政人	山田 恵子	坂谷 隆章	
田中 高司	加藤 恭子		

(議席順)

市議会議員は、公職選挙法の規定により年賀状を送ることが禁止されているため、本紙面上をもって年頭のごあいさつをさせていただきます。

向けた新たな思いを共有する貴重な機会となりましたこと、改めて皆さまのご支援に心より感謝申し上げます。

また、昨年は物価高騰やエネルギー価格の上昇など、厳しい社会情勢が続いた一年でもありました。本年の干支である「巳」は、再生や成長の象徴とされており、この新たな年を迎え、本市議会においても時代の変化に柔軟に対応しながら、地域経済の活性化、福祉の充実、防災・減災対策、教育の充実など、多岐にわたる課題に取り組み、本市のさらなる発展に向けまい進してまいります。また、市のキャッチコピー「ひとが咲くまち ひたちなか」のもと、市民一人一人が自分らしい花を咲かせることができる魅力あふれるまちを目指し、議員一同、一意専心努めてまいる所存です。

本年もなお一層のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

# 12月定例会で 次の案件が提出されました。

● 会期：12月5日～12月19日

## 今回の審議件数は

- 議案：12件(原案可決10件 同意2件)
- ※報告：3件(承認3件)
- 請願：3件(8ページを参照)
- 陳情：2件(8ページを参照)
- 計：20件

今号ではこの中から3つを左に掲載します。

※報告は議会の承認が必要な案件のみ記載  
○案件名と結果の詳細はひたちなか市ホームページをご覧ください。

〈議案第95号〉 令和6年度ひたちなか市一般会計補正予算(第6号)

### 『個別予防接種業務委託料』

積極的勧奨再開による事業の浸透とキャッチアップ接種事業の年度内終了に伴う子宮頸がん(HPVワクチン)予防接種者の増加に伴う経費を補正します。

〈議案第101号〉 消防ポンプ自動車購入(第15分団)売買契約の締結について

第15分団の消防ポンプ自動車の老朽化に伴う購入について、指名競争入札により契約を締結します。

〈議案第102号〉 東中根高場線常磐線立体交差新橋増設工事委託事業に関する協定の一部を変更する協定締結について

夜間工事を伴う類似事業との調整により、約9カ月の工期短縮が図られ、「協定の金額」を改める変更協定を締結します。





## 質問者



市の事業などについて、  
執行状況または将来の方針、  
課題などを議員が直接質問しました。

- ① 北原 祐二 議員
- ② 加藤 恭子 議員
- ③ 大内 健寿 議員
- ④ 宇田 貴子 議員
- ⑤ 鶴澤 恵一 議員
- ⑥ 山田 恵子 議員
- ⑦ 清水 立雄 議員
- ⑧ 海野 富男 議員
- ⑨ 大内 聖仁 議員
- ⑩ 安 のり子 議員
- ⑪ 清水 健司 議員
- ⑫ 井坂 章 議員

質問議員本人が選定した2問を掲載しています。  
なお、掲載は登壇の順となっています。



<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/gikai/index.html>  
市議会ホームページで議会議録映像の配信や会議録の検索により一般質問などの詳しい内容もご覧になれます。

①北原 祐二 議員

### 防災情報伝達手段 について



令和7年度中の工事完了を  
目指し、防災行政無線のデジタル  
化更新工事が進行中。進捗状況  
および、各家庭に無償貸与中の  
アナログ式からデジタル式への  
戸別受信機の切り替えと配布に  
ついて伺う。

**市民生活部長** 放送発信の主要設  
備などの整備は完了し、屋外放送  
塔の更新工事を行っている。デジ  
タル式戸別受信機の整備もおおむ  
ね計画どおりに進捗している。既  
存のアナログ式戸別受信機は、デ  
ジタル化更新工事後も当面使用可  
能だが、デジタル式戸別受信機へ  
の交換は作業時間を要するため、  
更新の基準を定め、那珂川洪水が  
想定される地域から先行して配布  
していく。

### ふるさと納税に ついて

**問** 現地決済型ふるさと納税【※】  
に注目が集まる中、本市でも民  
間施設で導入が始まっている。  
勝田駅の観光案内所で寄付が可  
能になれば、体験型の利用拡大  
にもつながると考えるが、いか  
が。

**企画部長** 本市では、令和5年5月  
からシステムの導入を開始し、現  
在、宿泊施設3施設と飲食店2店  
舗で導入している。このシステムは  
即時性に優れ、利用券を寄付者へ  
送付する必要がないなどのメリッ  
トがある。しかし、導入が難しい  
事業者もいることから、システム提  
供の委託事業者と連携し、対策を  
講じる。また、イベントでの活用や  
観光案内所への設置も検討してい  
く。

#### 用語解説

【※】現地決済型ふるさと納税

スマートフォンなどから二次元  
バーコードを読み取り、その場で  
ふるさと納税による寄付ができ、  
返礼品として対象施設などで利用  
可能な電子クーポンが付与され  
る。



◀次ページに続く



### ● GIGAスクール 端末更新について

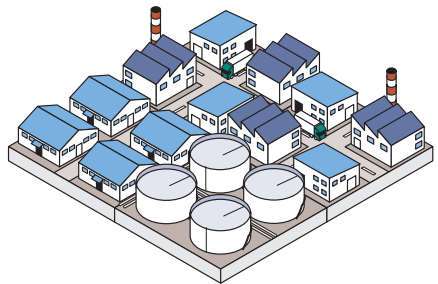
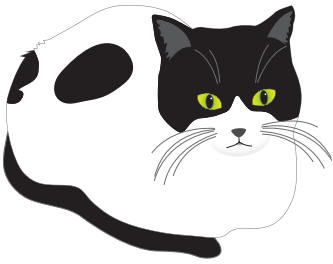
**問** 児童生徒に一人一台配備されている端末が、順次更新時期を迎える。端末を処分する際は、子どもたちの個人情報流出を防ぐため、確実にデータを消去しなければならぬ。本市の取り組みを伺う。

**教育部長** 端末の処分は、文部科学省・経済産業省・環境省連名通知に基づき、他の用途に活用可能か検討した上で、再使用できない端末は、レアメタルなどの有用な金属の再資源化を図るため、法令に基づき適切な処理ができる業者に処理を依頼する。どの処分方法でも個人情報漏えい対策は重要と認識しており、データ消去証明書の発行を義務付けるなど、適切に対応していく。

### ● 猫よけ器の貸し出し について

**問** 猫よけ器とは、猫が嫌う周波数の超音波を発することにより、庭などの敷地内への侵入を防ぐ装置である。野良猫などのふん尿による悪臭などでの被害を受けている市民に対し、貸し出しを検討してはどうか。

**保健福祉部長** 猫よけ器は、猫よけ対策の新たな手段になり得ると理解している。既に導入した自治体では、設置環境により違いはあるが、被害状況の改善にある程度の効果を得ることができたと伺っている。一方、機器の発する超音波を受けた住民が不快に感じるとの報告や相談もあるため、今後、他自治体の導入効果を確認しながら、猫よけ対策の一つとして検討していく。



### ● 企業誘致を促進 新工業団地について

**問** 新たな工業団地、新光町地内常陸那珂工業団地、第1期、第2期拡張地区の工程、土地取得を希望する地元企業の取り組み、企業立地に伴う幹線道路の渋滞対策について伺う。

**企画部長** 常陸那珂工業団地の第1期拡張地区は令和7年度、第2期拡張地区は令和8年度に造成工事が終了する予定である。地元企業から用地を求めめる声も寄せられていることから、ニーズを踏まえた区画設定を県に要望していく。工業団地の拡張による通勤者の増加を念頭に置き、関係機関・立地企業などと連携を図りながら渋滞や混雑の緩和対策に努めていく。

### ● 松くい虫被害に ついて

**問** 本市海岸線は、白砂青松はくしゃせいしょうの美観をなす景観を形成してきた。しかし、多数の松が松くい虫の被害に遭い、深緑は今や褐色と化した松の樹木が多数に及んでいる。被害の現状と取り組みについて伺う。

**経済環境部長** 松くい虫の被害は沿岸部のほか内陸部にも及んでいる。県道247号線の松枯れは県と連携し、状況の把握に努め、被害拡大防止に向けた取り組みを講じるよう働きかけている。市が所有する松林には、松くい虫防除の薬剤散布を実施し、1月は被害木を伐採、令和7年度は松くい虫に抵抗性の高いクロ松の植林を予定し、沿岸部森林の保全を図っていく。



松くい虫被害



### ● 戦後80年、平和への 新たな決意の年に

**問** 本市は核兵器廃絶平和都市を宣言している。また、戦争末期に艦砲射撃で甚大な被害を受けた市として、地元の戦争の記録と記憶を風化せず、平和を求める取り組みが必要と考えるが、いかがか。

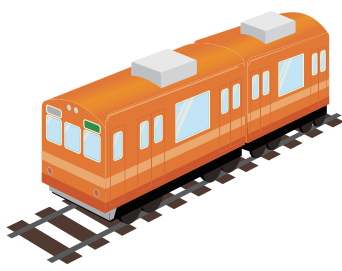
**市長** 平和推進事業の取り組みを継続するとともに、戦後80年を契機として、さまざまな機会を通じて、幅広い世代の方が平和の尊さについて考える機会を提供していく。  
**教育長** 多くの尊い命を奪う戦争を二度と起こさないために、地元で起きた戦争の歴史を学ぶことを契機として、子どもたちが平和な未来を築く主権者となるよう、その育成に努めていく。



### ● 海浜鉄道湊線の延伸計画は再考を

**問** 126億かけて延伸しても、地元や通勤通学などの利便性向上はわずかである。圧倒的に観光客の運賃収入に頼ることになる経営はリスクも高く、自治体として正しい税金の使い方が問われる。

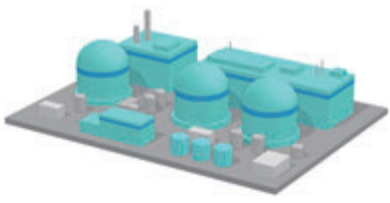
**企画部長** 国営公園の性質的に経営上移転することは想定しにくく、また、始発から終点までが観光ルートであることから、乗車効率性が高く、観光収入面などでは利点があると見込んでいる。延伸事業を進めるには、国の支援を得たいと考えており、現在、海浜鉄道と「鉄道事業再構築実施計画」を策定しており、国の支援が得られるよう、引き続き計画策定に注力していく。



### ● 東海第二原発の再稼働問題について

**問** 去年の12月議会において、市長は「まず避難計画の内容など必要な情報提供が重要」と答弁した。過去1年間の市民に対しての情報提供をどのように行ったか。現状を伺う。

**市民生活部長** 1人当たりの避難所面積の見直しに伴い、県が主体となって避難先の調整に取り組んでいる。現時点では、避難先や市内各地区の割り振り、避難経路などが確定しておらず、本市の避難計画の内容について情報提供ができていない。市のホームページから国や県の情報にアクセス可能なリンクの設定にとどまっている。策定の進捗にあわせて情報を提供していく。



### ● 教職員の多忙化の現状について

**問** 教職員の多忙化を軽減するために、教員免許をもたないが教職員の手助けをするような市独自の補助職員の任用について伺う。

**教育長** 現在、県費により、教職員の事務補助を行う「スクールサポートスタッフ」を4校に1名ずつ配置している。来年度は、配置できる学校が増える見込みである。また、本市では、支援が必要な児童生徒への対応を行う「学校介助員」、部活動の技術指導を行う「部活動外部指導員」、引率・指導を担う「部活動指導員」を配置している。効果検証を行い適切に配置していく。



### ● 投票しやすい環境づくりについて

**問** 選挙の投票用紙を自分で記入したいという視覚障がい者を手助けするための「投票用紙記入補助具」というものがある。環境づくりは大切である。現在の取り組み状況と補助具導入について伺う。

**選挙管理委員長** 市選挙管理委員会では、コミュニケーションに困難を抱える方が意思を伝えやすくするためのコミュニケーションボードの導入、車いすの方などが利用する仮設スロープの設置など、合理的配慮を要する方が投票しやすい環境づくりに努めている。投票用紙記入補助具は、投票しやすい環境づくりの一助になると考えられ、導入に向けて検討を進めていく。

### ● 戸籍証明書のコンビニ交付について

**問** 11月15日から住民票、印鑑登録証明書に加えて戸籍証明書がコンビニで取得できるようになった。コンビニで取得できる戸籍証明書の種類と現在の交付状況を伺う。

**市民生活部長** コンビニ交付は、マイナンバーカードの普及と早期・夜間でも取得できる利便性から、利用率は増加傾向にある。11月15日からコンビニで取得できる戸籍証明書は、11月末時点で全部事項証明書が52通、個人事項証明書が33通、戸籍の附票の写しが9通で、関東以外のコンビニでも取得できれば、本市に本籍がある県外居住者にもメリットがあると受け止めている。





海浜鉄道湊線

### ● 湊線延伸の財源について

**問** 鉄道事業再構築事業の実施計画を作れば、国の補助金を受けられることが期待できると考えてよいか。また、県の支援について可能性はあるのか。

**企画部長** 地域公共交通再構築事業の補助申請の前提要件として鉄道事業再構築実施計画を策定するとともに、国土交通大臣の認定を受ける必要がある。年度内に策定できるように、現在進めている。  
**市長** 延伸事業を進めていくためには、国の支援をいただきたいと考えている。鉄道事業再構築実施計画の策定に注力し、補助が決まるよう最大限の努力をしていく。

### ● 調整区域のインフラ整備について

**問** 市街化区域との線引きはあるものの、調整区域内での団地化や住宅化が進んでおり、住民は不便を強いられている。「臭い物に蓋」ではなく、狭隘道路の対策や下水道の未整備にどう対処していくか伺う。

**都市整備部長** 都市計画では、市街化調整区域のままであるが、そこには生活をされている方々がおり、日々不便を感じていることは、日常業務の中で解決を図るべきものと考えている。特に生活密着道路に対する要望を数多くいただいていることは承知しているが、緊急度や公益公平性の観点から優先順位をつけ、地域のご意見や現状把握に努めながら、整備を図っているところである。



収穫期の稲

### ● 本市の稲作農業について伺う

**問** 本市の「地域計画」（未来に向けた農業、農村プラン）策定における進捗状況、および耕作放棄地の解消に向けた施策について伺う。

**経済環境部長** 「地域計画」の作成については、市内6地区の座談会を実施し、地域農業の課題および将来のあり方を議論した。その結果を取りまとめ、令和7年3月をめどに「地域計画」を策定する。耕作放棄地については、耕作を再開するための補助を実施している。今後とも意欲ある農家を支援し、耕作放棄地の解消および発生防止に努めていく。

### ● 有機フッ素化合物PFAS【※】について

**問** 本市における水道水に含まれていたPFAS。多量に摂取すると人体に有害な影響を与える有機フッ素化合物を除去する課題と対応策について伺う。

**水道事業管理者** PFASは健康などに影響を及ぼすとされているが、十分な知見がなく国際的にも許容摂取量が定まっていないが、環境省が暫定目標値を設定している。本市の検査結果は、目標値を大きく下回る数値であったが、除去方法としては活性炭処理が有効であるとされており、対応が可能であると考えている。引き続き原水や水道水の監視を行っていく。  
**用語解説**  
【※】PFAS（ペーファス）

有機フッ素化合物の総称。中でも、PFOS（ペーフォス・メッキ処理剤、泡消火薬剤など）、PFOA（ペーフォア・撥水剤、界面活性剤など）は、自然界で分解されにくい特徴がある。



### ● 浸水被害について

**問** 過去に異常気象と言われた大型台風や集中豪雨は、今や異常気象ではない。毎年発生すると考える。床下浸水した住宅が多数ある中、浸水被害対策が必要と考えるが、いかがか。

**建設部長** 集中豪雨による被害軽減のため、「中丸川流域における浸水被害軽減プラン」を策定し、令和10年度の完了を目指している。雨水流出の抑制や、上流の雨水幹線整備と下流の河川改修事業の一体的な整備を進めている。プラン完成までの対策として、既存の排水施設の適切な維持管理に努め、暫定的に浸透弁の設置や排水ポンプなどを設置し対策を行っていく。



⑨ 大内 聖仁 議員

### ●市内各イベントについて

**問** 今年度、ひたちなか祭りでは県内最大規模のドローンショーに成功し、日曜日の来場者数は過去一番を記録した。コーヒーフェスやドッグフェス、日本夜市など全体を通し大成功を収めた要因を問う。



コーヒーフェス

**企画部長** 市誕生30周年を祝うため、さまざまな分野において記念事業を実施してきた。市報をはじめとする媒体で統一感のあるPRを行い、多くの方に関心を持っていただけるよう努めてきた。積極的かつ丁寧に情報発信を続けてきたことが、記念事業の広がりや盛り上がりを支える要因となり、多くの方に市の魅力を知っていただくことにつながったと感じている。

⑩ 安 のり子 議員

### ●多世代が楽しめる街づくりについて



**問** 勝田駅前周辺を「さらなる賑わいと活気あふれるエリア」にするため、多世代が憩う場所としてカフェやレストラン、キッチンカーやワーキングスペースなどの設置を踏まえた中心市街地計画はいかがか。

**企画部長** 勝田駅前をはじめ中心市街地におけるまちづくりについては、人と人、人とまちがつながり、そこに住む住人や関わる方が心地よく過ごせる魅力的な場所にするのを目的に、今年度から2年間をかけ、新たな計画の策定に取り組んでいる。計画策定にあたり、関係部署が一体となり、中心市街地に多くの方が集い・賑わう魅力的な場所となるよう取り組んでいく。

●不登校の子ども達に居場所を

**問** 全国的に増加している傾向の中、本市の調査結果からも、校内フリースクールだけでは果たせない状況である。これからの子どもたちの居場所づくりについて、学びの多様な学校のご見解はいかがか。

**教育長** 現在、全国で公立21校、私立14校、合計35校が設置されており、来春、水戸市に北関東では初となる学びの多様な学校が、私立で開校の予定と聞いている。本市においては、現在、校内フリースクールの検証と研究を開始したところである。現時点で学びの多様な学校を設置することは想定していないが、不登校児童生徒の学びのあり方として、先進校の動向を注視していく。



⑪ 清水 健司 議員

### ●持続可能な消防団組織の構築を



消防団活動

**問** 消防団員の充足率が5年間で7%低下し、団員の高齢化も進んでいる。消防団員の減少が著しい状況をどのように捉えているのか、消防団活動の活性化、団員確保に向けた本市の取り組みを問う。

**市民生活部長** 消防団員の減少は、全国的に問題であり、本市においても団員の確保は、喫緊の課題と認識している。このことから本市では、広報誌「<sup>まどい</sup>纏」による活動状況の周知・啓発や公共施設へののぼり旗の設置、各種イベントにおいて団員募集の啓発を行っている。また、報酬額見直しなどの待遇改善や分団からの要望に基づく資機材の購入など各種改善に取り組んでいる。

●高場陸橋4車線化事業について

**問** 間もなく高場陸橋4車線化事業が完成する。現橋(既存の陸橋)は橋齢100年まで使用していく計画だが、この先40年現橋の安全対策、走行音や振動対策について、今後の対応を問う。

**建設部長** 現橋の安全対策については、今後も定期的に点検を行い、その結果により策定する「橋梁長寿命化修繕計画」に基づいた修繕に加え、必要な補強を行うなど健全性と安全性を確保していく。騒音や振動などについては、今後も定期点検やパトロールを実施し、道路舗装の劣化や交通環境の変化により状況が悪化した場合には、対策を検討し必要な措置を講じていく。



## ● 市内経済の振興について



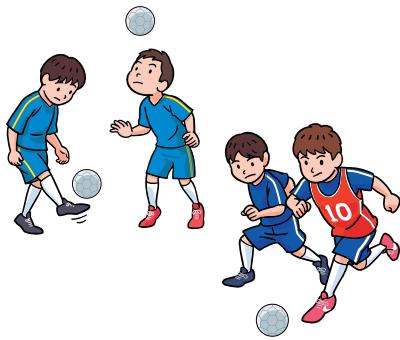
**問** 中小の商店街では、コロナ禍の影響、客足が伸びず苦戦している。また、物価高騰に追い付かず、厳しい生活となっている。そこで本市の経済対策について伺う。

**総務部長** これまで補正予算を編成し、重点支援地方交付金の推奨事業メニューとして示された事業を参考に、市民生活や事業者の支援など、地域経済対策に切れ目なく取り組んできました。引き続き、市民の皆さまや事業者の方々の声を伺いながら、重点支援地方交付金を活用した支援策の検討を進め、適切な時期に適切な施策を実施できるよう、取り組んでいく。

## ● 中学校部活動の現状と今後について

**問** 教職員の多忙化の課題解決と働き方改革のもと、部活動のあり方が課題である。市内の部活動の現況と先生と生徒との関わり的重要性。また、これからの地域移行の課題を伺う。

**教育長** 近年、少子化などに伴い、学校単位でチームが編成できないなどといった状況が見られるようになってきた。少子化が進む中、生徒が、将来にわたりスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができるよう、休日の部活動の地域移行に向けて、活動場所の確保など環境の整備に向けて取り組んでいる。課題としては、保護者の負担が増えることが挙げられる。



## 請願・陳情

請願と陳情は審査の結果、次のとおりとなりました。

### 採択となったもの

- ▽教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求めることについて
- ▽医薬品や医療機器の安定供給確保並びにイノベーション推進に係る意見書採択を求めることについて

### 不採択となったもの

- ▽訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求めることについて
- ▽はなのわ幼稚園前市道の陥没調査及び豪雨等による周辺冠水への対策について

### 継続審査となったもの

- ▽ひたちなか市として策定中の「原子力災害に備えた広域避難計画」に関することについて

### 意見書

- ▽「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書」を内閣総理大臣ほか5機関へ提出しました。

### 措置内容

- 1 中学校での35人学級を早急に実施すること。また、

更なる学級編制標準の引き下げ等少人数学級について検討すること。

- 2 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
- 3 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
- ▽「医薬品や医療機器の安定供給確保並びにイノベーション推進を求める意見書」を内閣総理大臣ほか4機関へ提出しました。

### 措置内容

- 1 国が製薬会社や医薬品卸売事業者の製造・在庫・流通状況を迅速かつ正確に把握できる仕組みの構築と、医薬品や医療機器の供給継続等に必要な指導を実施できる体制を構築すること。
- 2 薬価改定が供給体制に与える影響を踏まえ、現下の薬価制度の見直しによるイノベーションの推進と医薬品の増産等に必要の人件費や設備投資への支援を拡充するなど、適正で安定したサプライチェーンの構築や創薬力の強化が図られる財政支援を行うこと。

## 人事

### ひたちなか市教育委員会委員の任命同意

ひたちなか市教育委員会委員に、原 嘉昭氏を任命することに同意しました。

### ひたちなか市固定資産評価審査委員会委員の選任同意

ひたちなか市固定資産評価審査委員会委員に、大貫 勅俊氏を選任することに同意しました。



# 討論

debate

12月定例会の報告および議案ならびに請願・陳情について、採決に先立ち次のような討論が行われました。

## 議案に対する討論

### ●反対

議案第100号 茨城租税債権管理機構規約の変更について、本議案は、今年度から課税される森林環境税について、滞納があれば徴収業務を機構に移管できるようにするというものである。森林環境税は、復興特別税の課税期限終了により、今後は森林環境税と名称を変え、同額を徴収しようとするものである。国税は、国において徴収すべきものであり、滞納について、茨城租税債権管理機構への移管には反対する。

議案第106号 医薬品や医療機器の安定供給確保並びにイノベーション推進を求める意見書提出について、現在の医薬品不足の状況は深刻で、実効性のある対策が求められている。今の状況を招いた国の政策の誤り、その打開策に対する国の財

政支援が明確ではなく、患者、地域の調剤薬局や医療機関の医薬品不足の解決策にはならないため反対する。

## 請願・陳情に対する討論

### ●賛成

陳情第15号 はなの幼稚園前市道の陥没調査及び豪雨等による周辺冠水への対策について、現在、市では雨水対策を進めており、令和10年度の完了を目指している。しかし、現在も市内の各地で冠水被害が生じており、対応が待たれている。本陳情には、813名の署名が添えられ、幼稚園前の道路環境の整備、改善、安全に対する強い願いが示された。否決されるべきではない。

請願第17号 訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求めることについて、本年4月の介護報酬改定で、国は、訪問介護の基本報酬を引き下げた。介護職員の処遇改善のための報酬を引き上げたので、基本報酬を引き下げても減収にはならないとしている。しかし、報酬改定が事業所に与える影響は深刻で、経営難に陥り、在宅介護が崩壊しかねない。訪問介護は、超高齢化社会を迎える日本において、国が進める地域包括シス

テムの要を担う職種である。しかし、現在、ヘルパーの給与は全産業平均を6万円も下回っている。介護職員と他業種との賃金格差は深刻で、本市の事業所においても人材が不足している。国に対応を求めるとした本請願は採択すべきである。

### ●反対

請願第16号 医薬品や医療機器の安定供給確保並びにイノベーション推進に係る意見書採択を求めることについて、現在の医薬品などの供給不足に対しては、早急な対応が必要である。しかし、医薬品分野で、国が進めるイノベーションの推進は、製薬会社の新薬開発と高い薬価算定のための財源として、新たに患者負担増を伴う政策である。現在の医薬品の供給不足の原因には、国による社会保障費抑制の政策がある。先発薬、画期的新薬などを優遇し、後発薬や基礎的医薬品の薬価を下げ続けてきた国の責任が問われるが、本請願には、財政支援において、国の責任が明記されていない。患者負担ではなく、公費で財政支援することこそ明記すべきであるため賛成できない。



## 閉会中の常任委員会活動

### 総務生活委員会

○11月5日

新本庁舎建設について（議会部分を除く）、執行部から説明を受け、質疑を行いました。

### 文教福祉委員会

○10月25日

新中央図書館設計業務の公募型プロポーザル審査結果および今後の進め方について、執行部から説明を受け、質疑を行いました。

### 経済建設委員会

○10月30日

水道事業の広域化および中丸川流域における浸水被害軽減プランについて、執行部から説明を受け、質疑を行いました。

## 委員会構成の変更

本市議会の常任委員会中、予算委員会および決算委員会の構成が次のとおり変更となりました。

(令和6年12月2日)

委員会名	委員名						定数
予算委員会	◎大谷 隆 安 次男 山田 恵子	○安 のり子 清水 健司 雨澤 正	鵜澤 恵一 萩原 健 海野 富男	鎌田 政人 鈴木 道生 井坂 章			12人
決算委員会	◎大内 健寿 田中 高司 大内 聖仁	○大久保清美 加藤 恭子 清水 立雄	宇田 貴子 北原 祐二 三瓶 武	井坂 涼子 弓削 仁一 打越 浩			12人

◎委員長 ○副委員長

# 市民のこえ

hitachinaka

## 心結ぶ交流を

田彦 信本 晴香さん

1歳の娘と歩いていると、ご年配の方から「いまは、赤ちゃんを見る機会がないからね。嬉しい。」と声をかけていただくことがあります。人間関係が希薄になりがちな今、古くからの地に住み、発展を支えてくださった先輩世代と、子育て世代が身近に交流できる機会がこれからより増えることを希望します。私も自分の今いる場所で、人と人の心をつなぐ交流を広げていきたいです。



## 大好きな町の大好きな祭り

磯崎町 薄井 敬司さん

私の地元磯崎町では、今年6年ぶりにお祭りを開催致しました。コロナ明けで6年ぶりということもあり、本日に祭りが開催できるのか、半信半疑なところもありましたが、地元の方の熱意とパワーでふたを開けてみれば、大盛り上がり祭りの祭りとなりました。過疎化が進み、ゴーストタウンと呼ばれた磯崎にもたくさんの方が集まり、たくさん笑顔が見られて、本当に幸せな時間でした。



## 次回3月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/16	17	18	19	20 <small>講義・情報総切り 正午</small>	21 <small>定例会告示 議会運営委員会</small>	22
23	24	25	26	27	28	3/1
2	3 <small>本会議 (開会)</small>	4 <small>本会議 (午後1時開議)</small>	5	6 <small>(議案調査)</small>	7 <small>(議案調査)</small>	8
9	10 <small>(議案調査)</small>	11 <small>(議案調査)</small>	12 <small>本会議 (代表質問)</small>	13 <small>本会議 (代表質問、一般質問)</small>	14 <small>本会議 (一般質問、議案採決)</small>	15
16	17 <small>本会議 (予備日)</small>	18 <small>予算委員会</small>	19 <small>予算委員会</small>	20 <small>(春分の日)</small>	21 <small>予算委員会</small>	22
23	24 <small>予算委員会</small>	25 <small>予算委員会 (予備日)</small>	26 <small>常任委員会</small>	27 <small>(事務整理)</small>	28 <small>本会議 (閉会)</small>	29

## 議会を傍聴しませんか

本会議は、当日受付で、住所・氏名・年齢を記入するだけで簡単に傍聴することができます。ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください。(273-0111 内線4211)  
本会議の開始時間は、午前10時です。  
(日程が変更になる場合もあります)

## ご自宅でも議会を傍聴できます

本会議は生中継配信しています。市議会ホームページにアクセスし、本会議生中継配信(試験配信)からご視聴ください。

ひたちなか市議会/ひたちなか市公式ホームページ  
<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/gikai/index.html>



## 編集手帳

新年おめでとうございます。  
本年の干支は巳年(へび年)です。蛇は、古くから豊穡や金運をつかさどる神様として祀られてきました。脱皮することから復活や再生、不老長寿など縁起のいい動物として考えられています。また「巳」という文字は胎児の形から派生しており、「子孫繁栄」「家族が平和になる」などと言われています。  
昨年は、2つの特別委員会を発足し、議員一丸となって動いております。幸多き年になるようまい進してまいります。……………(安のり子記)